



在仏日本人会 会報 N°319 2026年 5月・6月号

JOURNAL JAPON

Save the date ! 日本祭りは5月24日 (日) に開催です!

Fête du Japon
日本祭り
NIHON ● MATSURI
5月24日(日) 11-16h
場所：パリ国際大学都市日本館
(Dim) le 24 Mai 11-16h
Maison du Japon, Cité internationale universitaire de Paris
7C, Bd. Jourdan 75014 Paris

Stands et Performances

スタンド・パフォーマンス

【協力企業/Partenaires】全日本空輸 (ANA) 日本航空 (JAL)
虎屋フランス (Toraya France)

【協力/Coopération】パリ国際大学都市日本館 (Maison du Japon-CIUP)、日本トランスユーロ (Nippon Euromovers)

【主催/Organisateur】在仏日本人会 (Association des Japonais en France)

企業、ボランティアなどの参加及びお問い合わせ
ajfexpo@gmail.com

今年の日本祭りの開催はシテユニベルシテ全体のfêteと同日開催。例年にもましてお祭気分が盛り上がること間違いなしです。ご家族で楽しんでいただけるスタンド、パフォーマンス盛りだくさんでお迎えいたします。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。スタンドとパフォーマンスの情報は上記QRコード (日仏) から確認いただけます。または、以下のリンクからもご覧いただけます。

日本語版 : <https://zaifutsunihonjinkai.fr/non-category/post-81296/>
フランス語版 : https://zaifutsunihonjinkai.fr/non-category/stand_performances_2026/

企業・ボランティアなどのお問い合わせ ajfexpo@gmail.com
なお、当日シテの周りの路上は駐車禁止ですので車でいらっしゃる方は次の駐車場をご利用ください。
<https://www.saemes.fr/fr/parking/parking-charley-coubertin>

【帰国者向け】

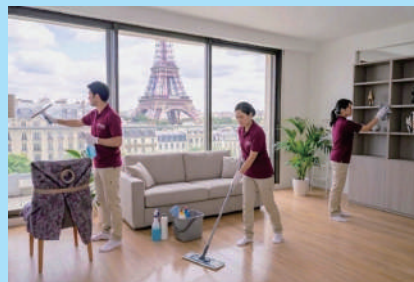
引越しセミナー
6/4(木), 7/7(火)
10-12時

ZOOM会議

要予約



退去もスムーズに
清掃・立会い通訳もお任せください



至れり尽くせりのお引越
日本トランスユーロ
transeuro.jp

☎ 01-4058-1000
✉ sales@transeuro.jp



50周年を迎えるパリ・ソフトボール大会

1977年春、有志が集いソフトボール大会が始まった。ブローニュの森の中、バガテル薔薇園近くのスポーツ・グラウンドであった。12チームが参加した。

当時パリで日本人の友好を暖める場所は少なく、当大会は在仏日本人会が主催する画期的な出来事であった。以後参加30チーム前後の黄金期を迎える。

そして、この熱狂は1980年代終わりまで続いた。出場選手だけでなく、家族、友人、知人等の大人から幼児まで集い、家族を中心に春秋のピクニックを兼ねた楽しい行事になって行った。

特に決勝戦では500人を越える観戦者、応援者がいた。時には雨も降り、雪さえ舞った。思えば長い道程であった。想像を越える様々な問題が生じた。これらを解決して行ったのが在仏日本人会と先輩実行委員達(5人委員会)であった。

フランスではマイナーなスポーツである野球やソフトボール用のグラウンドは皆無に等しかった。従って、サッカー・グラウンドやラグビー・グラウンドの空地を利用せざるを得なかった。

サッカー・プレーヤーとは場所の事で毎回の様に揉め事が続いた。一応、形の上で解決策となったのはFFBSC (Fédération Française de Baseball, Softball et Cricket) に加盟し一員となることであった。同一グラウンドを2チーム以上で競合し優先順位でも又揉めた。

そして2010年代半ばからは海の潮が引く様にサッカーの試合や練習がバガテル・グラウンドから消えてしまった。何故消えてしまったのか真相は今以って不明である。

ソフトボール試合 用具リスト

- ネット一式：支柱×2/柱頭×2/打込み杭×2(紐付き) / ネット押え×5/ネット/予備紐×2
- 巻尺、巻紐：巻尺、巻紐×2(支柱付)
- ベース類：ベース×4、ピッチャープレート+杭×2、ボール拭き
- 表示・ライン用具：左右赤ボール、石灰、線引器
- 外野フェンス類：外野支柱×20、外野フェンス×3巻
- 設営用具：金槌×4、鍬、土入れ馬穴、ビニールサック
- 試合・審判用具：ボール(1試合×2個分)、アカウンター(インジケーター)、審判マスク、ボール拭き布
- スコア用品：スコアボード、チョーク、拭き布
- 用紙類：組合わせ表、メンバーリスト表、ファインプレー用紙、点数表
- 記録・保険関係：ルール・ブック、スコア・ブック、保険用紙
- 備品：テーブル、椅子、雨傘
- 救護用品：捻挫用スプレー、絆創膏、包帯
- 緊急連絡先：Pompiers、SAMU 連絡番号 (tél: 18、tél: 15)

記念行事の主なものは次の通りである

1981年 第10回大会記念パーティー
於 Hôtel Nikko de Paris et Benkei

1984年 第15回大会記念パーティー 於 日本人会

1986年 第19回大会(10周年)記念パーティー
於 レストラン「将軍」(船)500人以上の人が参加。吃水が30cm位沈むという大盛況。

1987年 2回にわたる招待試合 於 Ville d'Avignon
及び1988年 Ville d'Avignon et Département Vaucluse の Fête du Japonへの招待。Avignon Baseball / Softball Clubが全経費負担。日本選抜チーム派遣。

1992年 第30回大会(15周年) Avignonチーム返礼招待試合(小島基金助成による)初日歓迎レセプション
於 日本人会吉田義男仏野球チーム総監督、仏連盟重鎮の方々の参加あり。二日目 親善試合 於 Vincennes Pershing 球場対日本選抜戦及び対 B.T.S. (フランスチャンピオン) 戦

1996年 第40回大会(20周年)記念
3ヶ国対抗試合(米加チーム、仏チーム、日本チーム)
試合後はバガテル広場にて野外レセプション。松浦大使、吉田次期阪神タイガース監督他多数参加。

2006年 第60回大会(30周年)記念
大学都市 Cité Universitaire 国際学園祭参加
日仏混合ソフトボール大会

2017年 第81回大会(40周年)記念 野外パーティー
於 バガテル広場 日本人会大テントの下、バーベキューと南米音楽の強烈な迫力の一日。

2020年 第87回 → 91回大会(5大会) ~2022年 Covid-19により中止。

2022年秋第92回大会 故大八木伸泰(前実行委員長/2020年7月21日逝去)記念大会。
長年の功労と鎮魂のため。

最後になりましたが、陰に陽にお力添え頂いた皆様に衷心よりお礼を申し上げます。これからもよろしくお願ひいたします。

実行委員：橋本勝義、西畑孝一、野口高広、柿崎直文(文責)





日本人会女声コーラス「みもざ」40周年記念演奏会のご案内

パリ日本人学校がまだパリ市内に所在していた当時、有志の保護者によってママさんコーラスが生まれました。そのグループが前身となり、1986年、日本人会のクラブ活動として女声コーラス「みもざ」は誕生致しました。歳月と共にメンバーの顔ぶれは変わりましたが、コーラスを愛する心は変わることなく受け継がれ、今日まで「みもざ」のハーモニーを紡いで参りました。これまでの歩みを振り返り、支えてくださった皆様への感謝を込めて、来る6月14日に「みもざ」創設40周年記念演奏会を開催いたします。今回は4人の声楽ソリストと6名の器楽奏者を迎え、華やかさを加えた特別記念プログラムです。

第一部ではモーツァルトの「戴冠ミサ(KV317)」を。そして第二部では、将来有望な若い音楽家たちのソロ演奏も交えながら、名曲「春の海」からジブリソングまで、心に響く日本の曲の数々を演奏致します。内容だけでなく会場も例年とは変えて、マレ地区にあるアルメニア教会での演奏会です。皆様のご来場を心からお待ちしております。

日時 6月14日 日曜日 17時30分開演
場所 Cathédrale Sainte-Croix de Paris des Arméniens
13-15, rue de Perche 75003 Paris
最寄り駅 Rambuteau, Saint-Sébastien-Froissart, Hôtel de Ville, Sait Paul
入場無料
問合せ先 mimosafrance@gmail.com



補習校だより かるた大会とバザー

3月21日(土)にかるた大会とバザーを開催しました。どちらも大変盛り上がり、みんなで楽しい時間を過ごすことができました。皆様、ご協力ありがとうございました。



パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 事業案内 (2026年5月10日～7月10日)

パリ日本文化会館 事業案内

【展示】

異彩を放つアート Un art hors norme

HERALBONY, quand la création dépasse le handicap

開催期間: 4月20日(火)～5月30日(土) 会場: 地上階ホール

入場自由・無料

内容: 障害のある作家による独自性あふれる作品と、それらを社会につなぐスタートアップ「ヘラルボニー」の革新的プロジェクトを紹介。「HERALBONY Art Prize」の受賞作を中心に、作家の強烈なアイデンティティから生まれた作品と、企業との共創によって生まれた多様なプロダクトを展示。また、見どころの一つである岡部志士氏のアトリエ再現では、その独自の創作世界を表現する。

北井一夫 日常礼賛～日本を見つめた60年

Kazuo Kitai, l'éloge du quotidien - Soixante ans à photographier le Japon

開催期間: 4月30日(木)～7月25日(土) 会場: 2階展示ホール

参加費: 一般5€、割引・会員3€

内容: 日本を代表する写真家のひとりでありながら、欧州で紹介される機会が少なかった北井一夫(1944年生まれ)のキャリアを通覧するフランスではじめての大規模個展。成田闘争など1960年代当時の社会を象徴する事件を独自の世界観で内側から写した初期の作品から、失われていく日本の農村の原風景を求めた中後期の作品まで、常に時代と向き合い続けてきた北井ならではの視点を紹介。

相撲、神秘なる力くらべ Sumo, forces sacrées

開催期間: 6月9日(火)～9月26日(土) 会場: 地上階ホール

入場自由・無料

内容: フランス人写真家・映像作家ブルーノ・アヴェイヤンが、鳴戸部屋に密着し、元横綱・琴歐洲勝紀の指導のもとで稽古に励む力士たちの姿を記録。力強さに偏りがちな相撲の従来のイメージから距離を置き、土俵での沈黙や呼吸、ひとつひとつの所作の美をカメラに収めた。本展は相撲における「力」と「美」の緊張関係を軸に、写真を通じて相撲を身体表現として再考する試み。

【公演】

日本伝統の音 篠笛・能管の世界: 藤合理生

日時: 5月21日(木) 19時～ 会場: 小ホール

参加費: 一般15€/割引13€/会員10€

内容: 本公演は、歌舞伎音楽で演奏される伝統的な長唄の演奏と共に、藤合理生が、笛の未来を見据えて自ら作曲した創作楽曲を披露する意欲的な演奏会。笛の演奏と共に、数百年と変わらぬ響きである長唄三味線、小鼓、太鼓の音も楽しむことが出来る、パリでは貴重な機会。また、クロード・ルデュエ氏に、篠笛・能管曲の新作を委嘱した作品を初演。

阿目虎南: Multi-Layered Body 《Animal》

日時: 5月27日(水)、28日(木) 20時～ 会場: 大ホール

入場料: 一般15€/割引13€/会員10€

内容: 阿目虎南が提唱する身体哲学「Multi-Layered Body」をさらに深化させたソロ作品《Animal》。本作は2024年にClafT2024の一環として東京・テルブシコールで初演され、2025年には磨赤児監修のもと大駱駝艦・壺中天にて再演。身体を主体や記号ではなく、衝動・記憶・意識が交錯する多層的な現象として捉え、言語や社会的アイデンティティ以前の、制御不能で匿名的な身体状態への回帰を試みる。生成と崩壊を繰り返す(現象としての身体)は観客の知覚を揺さぶり、人間と動物、意識と無意識の境界を問い直す、緊張感に満ちた即物的なドラマを立ち上げる。

日本の現代音楽をめぐって N°9 ～ 谷口知聡

日時: 6月3日(水) 19時～ 会場: 小ホール 参加費: 5€

内容: パリ日本文化会館と日仏現代音楽協会の共催による、日本の現代作曲家を紹介する演奏会シリーズ第9回。本公演では、オルレアン国際コンクール第2位入賞を果たし、日仏で活躍する若手ピアニスト・谷口知聡によるピアノリサイタルを開催。高橋悠治や権代敦彦など、社会を揺るがす出来事に着想を得た現代作曲家の作品を通して、芸術の役割や平和のあり方をあらためて問い直す。

Kan Sano: MOJACAT Tour コンサート

日時: 6月20日(土) 19時～ 会場: 大ホール

参加費: 一般15€/割引13€/会員10€

内容: 楽曲「On My Way Home」の再生回数が2,000万回を突破するなど、世界的評価も高いKan Sano。そんなKan Sanoの「日本語ポップス」に対する新たな解釈、アプローチ、挑戦となるアルバム「MOJACAT」のリリースツアー パリ公演です。Tom Mischが「Kan Sanoのファンだ」と公言し、自らの日本・韓国公演のオープニングアクトとして指名したのをキッカケに着実に注目を集めている。東京を飛び出しアジア圏でのライブも積極的に行い活動の場を世界に広げるKan Sanoによる、ジャズとクラシックを融合したような独自のスタイルでの即興演奏や、高熱量なバンド演奏で会場を熱狂させる貴重なライブ。

【映画】

『釣りバカ日誌』特集

日時: 4月4日(土)～7月25日(土) 会場: 小ホール 参加費: 一般6€/割引・会員3€

内容: やまさき十三(作)・北見けんいち(画)による人気釣り漫画の実写映画シリーズ特集。1988年から2009年にかけて発表された全22作品の脚本は山田洋次が手がけ、主演の西田敏行と三國連太郎の名コンビは国民的人気を博しました。本特集では1話から7話、そして10話、11話、14話と、ほぼフランス初公開となる10作品を毎週土曜日に上映。

水曜日の名画座 花咲きて散りぬ

日時: 5月13日(水)、6月17日(水)、7月15日(水) 会場: 小ホール

参加費: 一般6€/割引・会員3€

内容: 月に一度、日本映画の珠玉の名作を上映する「水曜日の名画座」。春夏季のテーマは「花」。各回専門家による上映前作品紹介トーク付き。

上映スケジュール:

5月13日(水) 山下耕作『緋牡丹博徒』(1968) [登壇: ロバン・ガット]

6月17日(水) 篠田正浩『桜の森の満開の下』(1975) [登壇: ジュリアン・セヴェオン]

7月15日(水) 松本俊夫『薔薇の葬列』(1969) [登壇: ステファン・デュ・メニルド]

小川紳介監督特集 一闘争を生きて、地に住まう

日時: 5月22日(金)、6月20日(土) 会場: 小ホール 参加費: 一般6€/割引・会員3€

内容: ドキュメンタリー映画史に燦然と輝く巨星として知られる小川紳介は、自ら率いる映画制作集団「小川プロダクション」とともに、カメラを向ける被写体の懐に飛び込み、彼女らとつねに同じ土地に立ち続けてきた。本特集は、60年代の学生闘争のバリエードから山形の田園風景までの3作品を通じ、不屈の精神に貫かれた作家の軌跡を辿る。

上映スケジュール:

5月22日(金) 『三里塚 辺田部落』(1973)

6月20日(土) 『1000年刻みの日時計 牧野村物語』(1987)

相撲映画特集

日時: 6月11日(木)～7月16日(木) 会場: 小ホール

参加費: 一般6€/割引・会員3€

内容: 国民的なスポーツにとどまらず、日本文化の神髄を体現する相撲。本特集は、そうした伝統の土俵に立つ力士たちの姿をフィクションとドキュメンタリーの両面でお届け。9月にも特集は続く。

上映スケジュール:

6月11日(木) 『相撲道～サムライを継ぐ者たち～』(2020)

6月18日(木) 『辛抱 Tu seras Sumo』(2013)

7月16日(木) 『シコぶんじゃった。』(1992)

【講演会・セミナー・シンポジウム】

現代刀: 日本の現代美術刀剣の魅了する世界

日時: 5月28日(木) 18時～ 会場: 小ホール

参加費: 入場無料・予約制

内容: 岡山県瀬戸内市は、日本刀最大の産地として知られる。本イベントでは、日本刀専門教育者トゥミ・グレンデル・マーカンが、その歴史と芸術性、現在も続く刀剣制作を紹介。後半では、現代刀鍛冶・川島一城へのインタビューを通じ、日本刀の美意識と継承の課題に迫る。

日本酒試飲会

日時: 5月29日(金) 18時～ 会場: 小ホール 参加費: 20€

内容: MCJP恒例日本酒事業。酒サムライのシルヴァン・ユエ氏が日本酒を分かりやすく解説します。その後、日本から参加した蔵元のお酒を試飲。

日常性、書くこと、そして哲学

日時: 5月29日(金) 18時30分～ 会場: 大ホール 参加費: 予約制無料

内容: 講師の千葉雅也氏(立命館大学大学院教授)は、ジル・ドゥルーズをはじめとするフランス現代哲学の研究を基盤に、日常に潜む倫理や美学を思考し、小説作品へと展開してきた。日本文学に見られる簡潔さや有限性の伝統を踏まえつつ、今回はモデレーターのアヌ・バヤール=坂井氏(イナルコ名誉教授)とともに、現代における言語と人間の関係を考察する。

嘉納治五郎と武道

日時: 6月16日(火) 18時～ 会場: 大ホール 参加費: 予約制無料

内容: 嘉納治五郎が創始した柔道をはじめ、合気道や剣道といった武道は、現在ではフランスでも広く親しまれる。フランス柔道連盟元副会長でポルドー大学教授のミシェル・ブルースが、日本の武道に息づく「非暴力」の精神について語るとともに、柔道(ブルース)、合気道(セルジュ・メレ、ヤン・ルイエ)、剣道(ジャン＝クロード・ジロ)、柔術(ペルトラン・アムス)の実演を披露。

街頭政治

日時: 6月16日(火) 18時30分～ 会場: 小ホール 参加費: 予約制無料

内容: 日本では1960～70年代にかけて、日米安保条約改定反対運動に象徴される大規模な社会運動と政治的動員が展開された。本講演会では、ニコラ・ピネ氏(エクス・マルセイユ大学日本学科准教授)が、当時の多様な社会運動の実態を分析し、それらが1970年代に衰退していった要因について考察。

相撲～ニュースアジア美術館の展示を通じて

日時: 6月26日(金) 18時30分～ 会場: 小ホール 参加費: 予約制無料

内容: ニースアジア美術館館長のアドリアン・ボサール氏を講師に迎え、2025年同館で開催された相撲に関する展覧会「L'équilibre absolu (絶対的均衡)」を紹介するとともに、「相撲」について、神道に根差した歴史の変遷から現代大衆文化における位置づけまで、多角的な視点で考察。さらに相撲の規範、代表的な人物像、伝統、そして「相撲」をテーマとした展示で生じた美術館としての課題についても語る。

パリ日本文化会館 (Maison de la culture du Japon à Paris) 事業案内 (5月10日～7月10日) 続き

「前衛芸術の日本 1910-1970」展——40周年を振り返る

日時：6月27日(土) 15時～ 会場：小ホール 参加費：予約制無料
内容：具体美術に注目したアルフレッド・バクマン、日本の現代写真を大量に収集したアラン・サイヤグ、1960年代のハプニングや暗黒舞踏を紹介した岡部あおみ、同展の学術事務局を務めた岡真理子、さらに博士論文を執筆中のスン・ウェイを迎え、20世紀日本美術の受容史を振り返る。あわせて、美術、写真、建築、工芸、デザインを網羅したこの大規模展が、歴史に何をもたらしたのかを考察。

五十嵐大介氏をお迎えして

日時：7月8日(水) 18時～ 会場：小ホール 参加費：予約制無料
内容：『魔女』『リトル・フォレスト』、さらにはアニメーション映画化もなされた『海獣の子供』をはじめ、90年代から数々のヒット作を生み出し続けている漫画家・五十嵐大介。最新作の『かまくらBAKE猫俱樂部』のフランス語版がフランス・デルクール社より刊行される機会にあわせて五十嵐氏をお迎えし、その創作の秘密に迫る。トークセッション後にはライブドローイングも実施予定。

【ワークショップ】

学校対象将棋ワークショップ

日時：7月8日(水) 18時～ 会場：レセプションホール (5階) 参加費：登録制無料
内容：2021年11月からMCJPでは学生対象に日本文化を体験頂く事業を毎期実施。今回は将棋。対象：小学生～高校生。

着付けアトリエ

日時：5月23日(土) 14時、16時 会場：教室2
参加費：25ユーロ (着物・小物等レンタル費込)
内容：着物は日本の伝統的な衣装で、日本文化の代表の一つ。花鳥風月、侘び寂びなど独特の美意識が着物のデザインには表現されている。特別な道具を使わない手結びによる着付けを体験して日本文化の奥深さに触れてみませんか？着物での基本的な立ち居振る舞いも説明。

はじめての墨絵ワークショップ

日時：5月30日(土) 13時半、16時 会場：教室2
参加費：75€ (全3回)
内容：墨絵は、日本の伝統的な絵画芸術の一つで、「Sumi」は黒い墨、「e」は絵を意味する。花や風景、鳥、動物などを墨のみで描く表現。本アトリエでは、四季を象徴する「四君子」(竹・蘭・菊・梅)のうち、入門に適した竹の描法を学ぶ。墨絵の技法とあわせて禅の精神にも触れ、参加者にはお手本を用意する。18歳以上対象。

お箸作りワークショップ

日時：6月5日(金) 15時、17時 会場：教室1 参加費：無料・予約制
内容：東南アジアでも使われているお箸だが、箸だけで食事をする文化は日本独自のものとされる。本来、お箸は食事の道具ではなく「神器」であった可能性も指摘されている。日本の食文化に欠かせないこのお箸作りワークショップでは、神社仏閣の建築材として用いられてきたヒノキを使い、伝統的な木工道具である鉋で削り、滑らかな箸を仕上げます。

「草月流 いけばな — 自然と人のあいだに生まれるかたち —」ワークショップ

日時：6月12日(金) 11時半、14時半 会場：レセプションホール 参加費：30€
内容：草月流いけばなのモットーは「いつでも、どこでも、誰にでも」。どんな素材でもいけられるという考えのもと、「いけばなは、いけた人のもの」と捉える。自然が生み出した植物に人の感性や意志が重なることで、いけばなならではの美が生まれる。本講座では、植物と向き合いながら自分自身の表現をかたちにする。いけばなに興味のある方や、既存の枠にとらわれない表現に挑戦したい方に向けたワークショップ。

いけばな体験講座

日時：6月13日(土)～27日(土) 14時～17時 会場：教室2 参加費：75€ (全3回)
内容：いけばなの3流派、小原流、草月流、池坊流をご紹介します、実際に体験する講座。必要な道具は全て会館でご用意。

布ぞうりワークショップ

日時：6月5日(金)、12日(金) 会場：教室2 参加費：45ユーロ (2セッション1コース)
内容：日本の伝統的な民具であるわらじを、藁ではなく布で作ったものを「布ぞうり」と呼ぶ。これは、古布を再利用する日本の織物技法・裂き織の考え方にも通じる。本ワークショップでは、不要になった布を使って布ぞうりを一足制作するほか、その技法を応用した裂き織も紹介。畳の上で、布を再利用するエコなもののづくり体験。

マンガの描き方を学ぼう！

日時：7月7日(火)～10日(金)
会場：教室1 参加費：60€ (全4回)
内容：顔の描き方の基本(正面、横顔、斜め)を学ぶ、「ちびキャラ」(デフォルメされたキャラクター)の作画、人体のプロポーションの理解、表情の描き分け、マンガのコマ割り。本ワークショップではタブレットは不使用。※以下の物をご用意ください：0.5mm・0.8mmのシャープペン/ペン、マンガライナー/黒ペン、消しゴム、鉛筆削り、色鉛筆/カラマーカー、定規など。10歳以上対象。

*以下についての詳細は、掲載サイトをご覧ください。

【教室】 https://www.mcjp.fr/ja/agenda?subsections=cours
囲碁教室 裏千家茶道-茶の湯 裏千家茶道教室 表千家茶道-茶の湯 表千家茶道教室 一立礼 日本庭園教室 生花教室 書道教室 日本画教室 布ぞうりワークショップ 折り紙ワークショップ 日本舞踊教室

【日本語講座】
http://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais

【JFにほんごeラーニングみなと】
https://www.mcjp.fr/fr/langue-japonaise/apprendre-le-japonais/cours-en-ligne_1

<パリ日本文化会館の催しに関するお問い合わせ>

火曜日～土曜日、11時～19時 問合せ先：TEL 01 44 37 95 01

所在地：101 bis, quai Jacques Chirac, 75015 Paris

http://www.mcjp.fr/

*日本人会発行のAMICJカードの提示でMCJP会員価格の適用が受けられます。

川柳仲間大募集中!!
日本人会「川柳パリ会」第四十七回選句結果発表！
今回のお題は、「桜・歳・イラン問題」。
春らしい風景から世相を切る一句まで、今回も個性豊かな作品が集まりました。
ユーモアの中に、ふっと考えさせられる視点が光るのも川柳の魅力ですね。
(秀逸) 武器保有なんでそんなにいらんに (無駄毛)
(二席) ソー公園後片付けは日本人 (おてもやん)
(三席) 花愛でる団子の方が好きだけど (とらこ)
◆最高得点賞 無駄毛
受賞された皆さま、おめでとうございます！
そして投句・選句していただいた会員の皆さま、今回もありがとうございました。
日本人会「川柳パリ会」は、句会を始めてから四年。毎回、笑いあり、共感あり、時には社会風刺ありの、温かな句会を続けています。
https://zaifutsunihonjinkai.fr/activities/activity/senryu/
また、日本人会「川柳パリ会」では新しい川柳仲間を募集中です。
「作るのはちょっと…」という方も、まずは“通りすがりの野次馬”として大歓迎。
ぜひお気軽に、過去の句会を覗いてみてください。
リンク: https://ntgm.nolimbre.com/paris/login
柳号: 通りすがり PW: paris75116

村上春樹
夏 帆
The Tale of KAHO
Haruki Murakami
2026年7月3日 全国一斉発売！
営業時間 月～土 10時～19時
Librairie japonaise JUNKUDO
18 rue des Pyramides
75001 Paris France
Tel: 01 42 60 89 12
Mail: contact@junku.fr
新刊案内、アトリエやイベント情報は @JunkuFr



舞台裏より愛をこめて vol.28

「Erhard Stiefel 師を偲んで…」

本年2月、京都でのモンマリ還暦記念、並びに息子『釣狐』披キという節目の特別公演を終え、翌月の東京公演へ向けて諸々シフトをという頃、一件の訃報が届きました…。それは、Erhard Stiefel 師ご逝去のお知らせでありました。

Erhard 師は、マスケラー（面作家）であられ、長年Théâtre du Soleil（太陽劇団）に所属し、舞台美術他、演出に関わる多くのことを手がけていらした方。太陽劇団に無くてはならない存在でした。その「エラールさん」こそが、モンマリをパリゾクコン者にせしめた張本人でございました。

内弟子修行中、師匠の鞆持ちで訪れた生まれて初めての海外フランスで、方々の劇場へといざなわれ、様々な扉を開けたその先の世界に酔いしれたモンマリは、フランスの舞台芸術にすっかり洗脳されてしまった訳でございます。

舞台のみならず、パリの街並み、お料理にワイン、そして政治への関心を大いに示す国民性にも心酔し、この時の思いから、子供たちと共にわたくしが、のちにこのパリへと送り込まれることになったのでございます。

エラールさんとの有り難い思い出の中に、少し困ったものもあり…20代の若者であったモンマリは「この店の服が着られるようになったらお前も一人前」とのお言葉を、崇拝するエラール先生より賜り、数年後、パリへ参りますたびにそのブティックへ立ち寄り、最初はチーフ、ネクタイ、カフスから、ついにスーツに革靴にまで手を染め?!どれだけ家計を逼迫させたことか!しかもまだ“一人前”にもなっていないのに!（この業界の30代なぞはま〜だまだ青二才♪）わたくしの恨み節が原因では無いことを願うのですが、その後、そのブティックは店仕舞いをしてしまい、家計を脅かす要因は無くなりましたが、モンマリにとりまして芸術家として、エラールさんのその姿勢とスタイルに、形からでも?!近づきたいとの思いがあったのでしよう。

1991年パリでのスタージュアシスタントで、湾岸戦争のさなかに渡仏したその時、アリアヌム・ヌーシュキン氏演出による 太陽劇団『アガメムノン』を皮切りに、ブッフ・デュ・ノール劇場でのピーター・ブルック氏演出による『テンペスト』、オペラバステューでの『フィガロの結婚』、他にもジェローム・デシャンカンパニーやジנגガロのスペクタクル、サーカス等々、演劇界の黄金期ともいえるそのタイミングにそれらの作品に触られたのですから、パリに熱狂するのも無理はございません。

子供たちにも折に触れ、当時ことを話して聴かせるなどをしておりましてのですが、実は幸いなることに、どうやら息子が、前出の劇場で、フランス人演出家による作品の主演を務めさせて頂くお話を頂戴しました模様、この数年内に上演予定とのことで、現在作品作りに精を出しております。

“パリで役者として学びたい”当時のその思いは、モンマリ本人から息子へと受け継がれ、めでたく実りつつある、と言いたいところですが、あのモンマリですから、ヤキモチ千万でござりましょう。息子に追いつけ追い越せ?!“フランス語アプリ”を手に、肅々とピコーンピコーンを響かせております。

パリ劇場での息子舞台につきましても、エラールさん、そして、亡き師匠にも天より御見守り頂けましたらと願いつつ…本日はこの辺で。

平和への祈りを込めて。



左から 1991年・1995年・2023年 エラールさんへ心からの感謝を込めて



小笠原尚子（おがさわらたかこ）プロフィール：
 “やんちゃ狂言師の裏方古女房” 東京生まれ。神戸→名古屋→横浜→佐渡ヶ島育ち。故八世野村万蔵主宰“わざおぎ塾”にて学生時代に演劇を勉強中、狂言師小笠原匡と出逢い1996年に結婚、伝統芸能の世界に入る。その後、大阪生活を経て2014年よりパリ在住。
 現在、パリで狂言普及活動の傍ら、自らは役者業を再開!



フランス人物伝 <28>

～カッシーニ家(天文学者)～

坂本 昭二（龍谷大学）



Jean-Dominique Cassini

ジャン＝ドミニク・カッシーニ（Jean-Dominique Cassini : 1625-1712）は現在のイタリア（当時はニース伯領）で生まれました。若い頃から数学と天文学に非凡な才能を示し、イエズスの学校で学んだのち、25歳の若さでポロニャ大学の教授に就任します。1669年、科学振興によって国威発揚を狙っていたフランス国王ルイ14世と宰相コルベールはカッシーニをパリに招きます。当初、カッシーニは一時的な滞在のつもりでしたが、フランス側の熱烈な歓迎と、建設中のパリ天文台

（Observatoire de Paris）という最高の環境に魅了されます。最終的に彼はフランスに帰化し、名をイタリア語のジョヴァンニ・ドメニコ（Giovanni Domenico）からフランス語のジャン＝ドミニク（Jean-Dominique）へと改め、初代パリ天文台長に就任しました。

以降4代（子）ジャック（Jacques : 1677-1756）、（孫）セザール＝フランソワ（César-François : 1714-1784）、（ひ孫）ジャン＝ドミニク（Jean-Dominique : 1748-1845）に渡ってカッシーニ家がパリ天文台長を務めることとなります。

パリ天文台は建物の中心線がパリ子午線（南北の線）に完全に重なるように配置されおり、建物の4つの壁面は、正確に北・南・東・西を向いています。天文台の子午線の間（Salle du Méridien）には、現在も床に真鍮の線が埋め込まれており、これが1884年までフランスの経度0度の基準でした。カッシーニ家の人々はこのパリ天文台の建物内に住み、家族全員で観測を支えていました。カッシーニ家4代にわたるプロジェクトの一つに、パリ天文台を通るパリ子午線を基準にしたフランス全土を三角測量で計測した人類史上初の近代的な精密度を持つ国家地図（カッシーニ地図）製作があります。（また、緯度や経度の1度の正確な距離を計測することは海上の船の位置を正確に知る上でも重要な問題でした。）カッシーニ地図によると、当時のフランスの国家地図が実際よりも大きく描かれていたことが発覚、結果的にフランスの海岸線は大幅に削り取られ、これを見た国王ルイ14世は「カッシーニは戦争の敵よりも多くの領土を私から奪った」と漏らしたエピソードは有名です。

19世紀になると、世界の海図の普及に伴い、経度の基準（0度）を世界で統一する必要が出てきました。フランスはパリ子午線を、イギリスはグリニッジ子午線を主張して激しく対立しましたが、1884年にワシントンで開催された国際子午線会議で、イギリスの海軍力と海図の普及率が決め手となり、グリニッジに軍配が上がりました。

カッシーニ家の最後は、フランス革命により王権の象徴としての天文台とカッシーニ家は攻撃対象となり、ひ孫のジャン＝ドミニクは1793年に天文台長を辞任。これによりカッシーニ家のパリ天文台での天文学は終焉を迎えました。

（画像はwikipediaより引用）

日本人会活動案内 -各種相談室・講座・活動-

各種相談(会員のみ)

*要予約(電話に限る): 01.53.76.17.58

法律相談(フランスの法律問題)(手配料5ユーロ)

事前予約の上、電話で相談を受け付けます。

法律上のトラブルを抱えている方は、必ず関係書類をご用意ください。相談内容は職業上の守秘義務により厳守されます。予約は相談日の1ヶ月前から受け付けます。

滞在相談

日本人会にメールでお問い合わせください。contact.ajf@orange.fr

健康相談

日本人会にメールでお問い合わせください。contact.ajf@orange.fr

無料子ども相談室

臨床心理士、神経小児科医、保健師、助産師などの専門家がご相談にお答えいたします。ご希望の方は「子ども相談」という件名をつけてkodomo.fr@gmail.com 折口までメールください。

クラブ活動・各種講座

ふらんす俳句会

有季定型を基調に句作の楽しみを味わっています。

代表 眞田美佐子 連絡先 sanadamisako@yahoo.fr

子ども図書館

読み聞かせ 毎月第1および第3水曜日 11h30~13h00。

日本語児童図書の貸出・返却は随時。永年登録料: 子供一人/2ユーロ

女声コーラス「みもざ」

コーラスの仲間達と美しいハーモニーを作り、楽しいひとときを過ごしませんか。

日本の歌、ミサ曲、フランス歌曲など。毎週火曜日13:30-16:00、Notre Dame de Compassion / Place du Général Koenig 75017 Paris (Porte Maillot)

https://mimosa-club-japon.jimdosite.com/ を参考に。

連絡TEL 06.33.89.56.59(石原) メール:mimosafrance@gmail.com

日本人会アーティストクラブ(NAC)

日本人会会員の美術系アーティストのクラブ。年会費16ユーロ。毎月第一火曜日の18h頃-20h頃、オペラ界隈のカフェTabac Le Ventadour 46, rue des Petits Champs 75002 Paris、あるいはカフェDalayrac 2, rue Dalayrac 75002 Parisに於いて月例の親睦会を開きます。飲み物代は自己負担。NAC会員以外の方の参加も大歓迎です。問い合わせは日本人会まで。

次回親睦会は、6月2日、7月7日です。

マロニエの会

毎月第2火曜日15h~17h茶話会「La Clef des Champs」49 rue des Petits Champs 75001 Paris 第3日曜日&第4水曜日14h30~国際大学都市「日本館」で月例会。

ホーム訪問、講演会、新年会、希望祭参加、郊外農園バーベキュー大会、バス遠足、美術館・催し物見学、食事会と楽しい企画も盛り沢山。

会報を年3回送付。年会費20ユーロ

連絡TEL: 06-5170-4955(二口) 06-2253-7418(六藤)

ソフトボール大会

春秋の年2大会あり。年齢・性別・国籍に関係なく、個人またはチームでの参加可。

連絡:実行委員長 代理 橋本 勝義 TEL: 06-14-73-37-31

キッズテニス

ARJ16 Tennis Club (Stade Henry de Montherlant: 32 Bd. Lannes 75016 Paris)

●キッズテニス

小学生から高校生 毎週火曜日(現地校のバカンスを除く)

火曜日4クラス 17時と18時 小学校低学年から高学年生

ただいま、若干空きがあります。年齢とレベルによりクラスが決まりますので、メールにてご相談ください。

●一般クラス 随時会員募集

初心者クラス、経験者クラスがあります。

火曜日 19時 金曜日 10時と11時

個人、グループでのレッスンをお受けします。

お問い合わせ amicalejaponaisto@yahoo.fr

書道同好会

*COMPLET 現在空きがございません。

毎週木曜日 15h~17h 参加費: 月20ユーロ

講師: 林 信賢

TEL 代表: 06 22 53 74 18 国際大学都市「日本館」

くもん日本人会教室

水曜日14h00~17h00 土曜日13h00~17h00 詳細はTEL:06 09 66 94 39(中村)

シャンソンDidier教室

日時: 第2・第4土曜日(16時~18時)

場所: Pavillon de la Sirène

20, rue Dareau 75014 Paris M^oDenfert-Rochereau

詳細は下記にお問い合わせください。

ch.tanaka@orange.fr Tel. 06 0383 2674(田中)

気功教室

毎週木曜18h30~19h45全レベル参加歓迎

会場: 天理文化センター 8-12 rue Bertin Poirée 75001 Paris

最寄駅 Châtelet 参加費: 1時間 9ユーロ(日本人会会員割引あり)

気功の他に、太極拳、簡単に見つかる針、マッサージのツボ探し、健康自己管理

の知識等も指導。講師/連絡先: ラン光旭(パリ第6大学医学大学院気功・太極拳

講師) TEL: 06-69-43-54-45 メール: yokogx@gmail.com

健康と美・ウォーキングレッスン

元パリミラノ東京コレクション/現役モデルによるウォーキング・写真のポージング・メイキャップ・Before & Afterなどニーズに合わせたプライベートレッスン(コース3回・180€/3h) プロ志望の方、カウンセリング、Zoomオンラインも可能(非会員: 別途料金)

詳細はお問い合わせください。facustudio@gmail.com TEL:06-2296-0655

講師: 北幸子(所属: Paris: Master Models, Tokyo: Oasis Styling)

子供のための習字教室

土曜クラス: 第2, 4土曜日 11h-12h 場所: 日本人会 授業料: 1回15ユーロ

(日本人会会員料金)。入学随時受付。

お問い合わせ: 六藤 06-22-53-74-18 kayoko94000@yahoo.co.jp

日本館茶の湯会(裏千家流)

於国際大学都市日本館

稽古日 金曜日(14時半-17時半) 月二回

土曜日(13時-16時半) 月二回

(特別企画) 親子茶会和の学校

年会費 25ユーロ・稽古参加費 一般 25ユーロ

連絡先 nihonkan.cyanoyu@gmail.com

chakaimomoe@gmail.com(親子茶会和の教室専用)

成人学習者向け日本語講座

*現在活動休止中

ヨガ教室 個人レッスンとオンラインレッスンに加えて、今春からグループレッスを再開しました。詳細はメールにてお問い合わせください。

日時: 平日午後を中心に参加者のみなさまのご都合に合わせて

会場: パリ市内 対象者: 全てのレベル 参加費: 1時間30€から

講師: ラロッシュ・アメリ

問合わせ・申込み: info@vacances-amelie.com(日仏)

川柳バリ会

インターネット上の「NET句会夏雲システム」を利用して開催されるバーチャルな句会を中心とした活動です。川柳をネット上の句会に投げたり、他の会員の川柳を楽しんだり、優秀だと思ふ作品を選句して参加することが可能です。

連絡先: 代表 石井 宏 parisici@yahoo.co.jp

※在仏日本人会法人会員名簿は、インターネット・サイトに掲載されています。

日本人会ホームページの次のリンクをご利用ください。

https://zaifutsunihonjinkai.fr/about-nihonjinkai/houjin-kaiin/

amicJ協賛店一覧はこちらのサイトを参照ください。

https://zaifutsunihonjinkai.fr/members-service/amic-j-card/



日本の企業と個人向けに企業、災害、賠償、
運輸、医療、その他保険のことなら
何でもランポーラボロスへどうぞご連絡下さい

91, rue Saint-Lazare 75009 PARIS

TEL.01.53.32.20.00 まで

FAX.01.42.85.04.65



マロニエの会・お花見 ～エッフェル塔を眺めて～

令和8年(2026年)3月29日(日)にシャイヨ宮の八重桜の下で行いました。

トロカデロのシャイヨ宮の両翼の前にはトロカデロ庭園が広がっていて、10本ほどの八重桜があります。3月初め、会員の貞廣さん、木村さんから「ソー公園のお花見は予約制になった!」との連絡を受けました。調べてみたら、桜の木の下での芝生ではできない。植物の保護の為。お二人からはその後も桜の花の開花の情報を沢山いただきました。それからは、八重桜のある場所探し。いろいろ現地を見て回り、交通の便やトイレの有無も考慮してシャイヨ宮に。当日テラスは観光客で混雑していましたが、右翼の庭園は、お花見のグループが3~4組ほど見られるのみ。たわなに花をつけた立派な八重桜の木とエッフェル塔の眺めのよい場所に陣取り、各人のお弁当を広げ、美味しくそうなお料理のおすそ分けにお腹も大満足。中村綾花さん一家が遠路参加。可愛い女の子二人の成長ぶりに、我々高齢者は孫を見るような思いで嬉しい時間を過ごしました。後半には沖縄三線のグループも合流し賑やかな彩りに。木村宇佐太郎さんも後半に参加され、古参メンバーは大喜び! 数日後、貞廣さんからAIで作った歌入りのビデオアルバムが届き、参加者皆さんに送信。嬉しい思い出となりました。



日本の四季のレシピをフランスで

五月、新緑が太陽の光を受けて輝く爽やかな季節です。お帰りなさい、今日もお疲れ様でした。マルシェで買った旬の野菜、季節の恵みを今日もたくさん頂いて、心を込めて作りました。緑の風を胸いっぱい吸って、お元気にお過ごしください。

【豆ごはん】季節の定番です。おいしいグリーンピース、昆布だしで炊きました。他に、新茶を入れて炊く、お茶のご飯もおすすです。日本での五月の楽しみは、たけのこ堀り。とりたての筍で炊いたたけのこ飯、竹林で飲む新茶と柏餅は格別です。お茶の新芽を摘んで、蒸して、お茶を作るのも楽しみのひとつでした。お茶の緑に、青々とした山々、清らかな水の流れが思い浮かびます。

【かぶの味噌汁】春にとれる柔らかいかぶ、葉もたくさん入れました。

【春野菜と味噌味のフムス】アスパラ、人参、芽キャベツ、赤かぶ、エンダイブ、春キャベツなどお好みの野菜でどうぞ。フムスは、ひよこ豆を煮て、つぶし、レモン汁、白味噌、オリーブオイルを混ぜて作ります。

【春のポテトサラダ】じゃが芋、人参、グリーンピース、春キャベツをたくさん入れて作りました。

【芽キャベツとグリーンピースの煮浸し】



【鯛のカルパッチョ】新鮮な鯛が手に入りました。爽やかにライムとコリアンダーを添えてどうぞ。お好みでオリーブオイルとおしょうゆでも、おいしく頂けます。

【あしたばの天ぷら】この時期の定番です。あしたばの葉の出できたばかりの新芽を摘んで、揚げたてを塩で頂きます。春の香りが広がります。また、朴葉焼きをまねて、あしたばの葉に鯛を包んで焼いてみました。あしたばの風味が香りよく魚を頂けます。

皆様の食卓に、新緑の爽やかさをお届けできますよう作りました。どうぞたくさん召し上がって下さい。

里奈のおすすめデザート

小さい頃からチーズケーキが大好き、お菓子類は全て家で作るのですが、チーズケーキはいつも買っていました。今回、家で作ってみようとして初挑戦。卵、ヨーグルト、フィラデルフィアチーズ、バニラ、メープルシロップそして、白味噌を隠し味に入れました。生地は、粉にアーモンドパウダー、メープルシロップを混ぜて作ります。お腹にもやさしい軽めのチーズケーキができました。



倉田 節子・フィエベ 里奈
Instagram: @lina_fievre ウェブサイト: linafievre.com
著書『LA TRADITION DU VEGETAL(éditions la plage)』の購入は一般書店及びeBookで
<https://www.laplage.fr/produit/386/9782383380443/japon>



終(ついに)のデザインのススメ

己の最後を決めるための
日本における相続・遺言の基礎知識(72)
(日仏間も視野に入れて)

日本の相続、まずは“どこに何があるか”から

日本では、今年(2026年)の2月2日から、「所有不動産記録証明制度」という新しい仕組みが始まりました。いわゆる「名寄せ」と呼ばれるもので、所有者本人や相続人が、本人又は故人名義の不動産を“一覧”として確認できる制度です。在仏の方からすると、「え、今まで全国で一覧できなかったの？」と驚かれますが、日本では長らく、不動産は各地域の登記所ごとに別管理という、典型的な縦割り構造が続いてきました。従来「名寄せ」と言えば、市区町村の税務課で取得できる「固定資産税の名寄せ台帳」のことです。市区町村内の不動産は一覧できますが、行政区画をまたいで全国的に検索することはできません。

◆新制度は、所有者不明土地問題を解決できるか？！

そのため、相続が始まって、「そもそも故人がどこに不動産を持っていたのか分からない」という状況が珍しくありませんでした。相続人の知らない土地が放置され、これが所有者不明土地問題の大きな原因のひとつです。今回の制度では、登記所で、相続人が被相続人の氏名と住所(市区町村まで一致、または末尾5文字一致)を“検索条件”として申請すると、登記官がシステムで検索し、該当する不動産を一覧にして交付します。ただし、検索には「限界がある」とのこと。検索条件が誤っていれば抽出されませんし、逆に同姓同名の他人の不動産が混ざる可能性もあります。また、登記簿がまだコンピュータ化されていない不動産は対象外です。

◆新制度を阻む壁

そして、日本ならではの“もうひとつの壁”が、漢字の異体字問題です。たとえば「さいとう」さん。日本語には、同じ読みでも複数の漢字が存在します(例:斎藤・齊藤・齋藤など)。しかも、どれも“正しい”表記です。不動産登記の氏名表記は住民票(昔は戸籍)の記載に基づきますが、相続時の戸籍を通読すると、婚姻や転籍のタイミングで字体が変わっていることが珍しくありません。その結果、複数の不動産を所有している場合、同じ人でも不動産ごとに字体が異なるという状況が発生します。同じ一つの不動産でも、取得時期が違っていると字体が混在し、登記上は“別人扱い”になってしまうケースすらあります。法務省は、この異体字問題について、検索時に MJ縮退マップ等を使って、異体字を一定のルールで統一して扱うと説明しています。本来、「齊」が正字で「斉」はその略字ですが、MJ縮退マップは、すべての『さい』を一つの字に置き換えるものではありません。見た目がほぼ同じで、一般の利用者には区別が付きにくい“デザイン差”のある文字を、それぞれの系統ごとに標準的な字(齊・斉・斎・齋のいずれか)に整理し直すための指針です。つまり、「齊」と「斉」など、実務上ほぼ同じと扱うべき文字を“同じグループ”として検索できるようにする仕組みで、できるだけ検索漏れが起きないように工夫されている、ということです。とはいえ、法務省HPに「完全に網羅できるわけではない」と注意書きがあるように、異体字問題は制度上どうしても残ります。名寄せ制度が始まって、こうした“漢字の揺れ”が原因で検索が漏れる可能性はゼロではありません。

◆日本の相続は、まず“漢字の歴史”と戦うところから

とはいえ、“全国で”名寄せが可能になったこと自体は、相続のDX化の面でも大きな前進です。これまで「どこに何があるか分からない」状態だった相続が、少しずつ“見える化”されていきます。ただし、制度が整っても、古い登記のまま放置された不動産、異体字の揺れ、住所変更の未反映といった日本特有の事情は、すぐには解決しません。また、1検索につき1600円の手数料ですから、氏名と住所の組み合わせを変えて複数回の検索を申請すると、それなりの費用になります。だからこそ、相続が始まる前に、「自分の名義の不動産がどこにあるのか」、「登記の氏名や住所はどう表記されているのか」を確認しておくことが、実はとても大切なのです。次回は、フランスにおける相続財産の所在を明らかにする制度 succession vacanteの改革について取り上げてみます。



第31回 「発酵生活、始めませんか？」

みなさん、こんにちは。フランスに住み始めてからというもの、発酵食品が食べたくて納豆にチャレンジするも作ったのは数回、キムチも作りたいと思いつつ、未だに手をつけられていません。続いているところで塩麹くらい…と、実は面倒くさがるの私。(笑) そんな私でも去年から始め、今でもゆる〜く続いているのが、野菜の乳酸発酵漬けです。続く理由はシンプルで、「美味しい」うえに「簡単」だから。基本は野菜を切り、漬けて待つだけの放置プレイ。乳酸発酵のほのかな酸味に癒され元気になる、何より旨みもたっぷり！アペリティフにも最適なこのお野菜の乳酸発酵漬け、一度作ってみませんか？

【材料】(750mLの瓶2つ分)

| | |
|------------------------------------|-----|
| 水 | 1L |
| (水道水は一晩寝かせるか、沸騰させて冷まし、カルキを抜いてください) | |
| 塩(ゲランドの塩など精製されていないもの) | 30g |
| お好みの生野菜 | 適量 |

基本の塩分濃度は3%、塩水を作り野菜が被るように漬け込むのみ。室温で1日から3日ぐらいうると、泡が立ち始め液が白濁してきます。そして1週間~10日くらいで発酵が止まると(味見して酸味が出始めていたらお好みのところで)その後は冷蔵庫に移し1ヶ月くらいを目安に食べ切るようにしてください。大根、ラディッシュ、蕪、セロリ、カリフラワー、フヌイユ、白菜、にんじん、ピーツ、ニンニク、玉ねぎ、きゅうり、ズッキーニ、パプリカ、エシャロット…はたまたトマトまで。単一の野菜でも、複数の野菜でも、唐辛子やスパイスを加えてもよし。なんでもありなのがこの乳酸発酵漬けの良いところ。瓶がない方は、最初はジッパー付きの保存袋などで始めてみることもできます。



- 大切なことは以下の3点：
容器をきちんと煮沸消毒すること
- できるだけ空気が入らない状態で発酵を行うこと
- 野菜が常に塩水に浸かっているようにすること

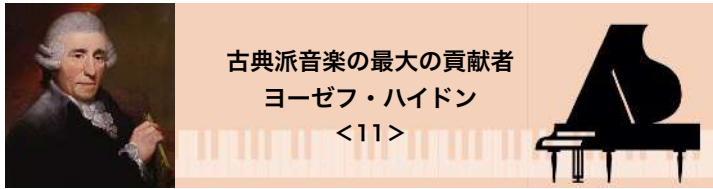
乳酸発酵は嫌気性発酵と呼ばれ、酸素がないところでよく発酵します。それに対しカビは酸素が必要なため、空気がない状態の中ではカビが発生しにくくなります。ただし、ボツリヌス菌は嫌気性のため空気がない状態でも繁殖できるため、使用する野菜は使う前に洗っておくことも大切です。また、乳酸発酵が行われると、pHが下がるため、ボツリヌス菌の繁殖を阻害することができますが、念には念を入れ、最低限容器の煮沸消毒は行いましょう。また、野菜が塩水に浸かっているとそこからカビが発生することもありますので、重しを入れる、もしくは一日一度瓶を振るなどして常に野菜が塩水に浸かっているようにしましょう。なお、乳酸発酵によって二酸化炭素などのガスが発生します。瓶内がシュワシュワしてきたらそっと開けて(シンクの中で開けたほうが良いです。プシューと飛び可能性大)みてください。Parfait®などの瓶詰め容器の場合は、最初の段階で金具まできちんと閉めず蓋を乗せるだけでも空気が入らずガスが抜けるようになります。このようにガスが発生しているということは乳酸発酵が成功しているということでもあります。美味しく楽しく野菜の乳酸発酵漬け、腸活はもちろんのこと、野菜の常備菜としても最適！この機会に始めてみてはいかがでしょうか。(写真の野菜漬けは今日この原稿を書いて食べたくなり漬けたもの。ピーツ・ニンニク・エシャロット・にんじん・黒胡椒入りです)



司法書士 桑瀬 登起子(くわせ ときこ 会員)
Consulting Office 桑瀬
TEL: 03-3354-0445 / FAX: 03-5363-8971
〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町15-38-202



小椎尾 真衣(こじお まい)
Diététicienne-Nutritionniste /管理栄養士
Instagram
https://www.instagram.com/diet.japonaise/
(日々の食生活をゆるーり綴っています)



2026年4月25日に東京銀座王子ホールでオーストリア大使館、オーストリア文化フォーラム東京、公益財団法人・日本ピアノ教育連盟の後援のもとに山崎孝ピアノ・リサイタルを関係者皆様のご好意を受けて無事に終えることが出来ました。感謝申し上げます次第です。

曲目をハイドンの作品に限ったのは、私がこの2年間、在仏日本人会会報に執筆した集大成のようなものであります。

ハイドンがいかに優れていたかのみでなく、古典派音楽の中で特異な立場であったかをふり返ってみたいと思います。

ハイドンが誕生した1732年からベートーヴェンが没した1827年とシューベルトが没した1828年はほぼ100年に及びます。古典派音楽の基盤はハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト各人とも同じだということは重要なのですが、生活様式については大きな相違があり、ハイドンはバツハ同様に封建社会、教会と王侯貴族に依存した音楽家でした。

モーツァルトとベートーヴェンとシューベルトは個人として独立した音楽家の立場です。しかも偶然、彼ら4人が生活していた場所「ウィーン体制(保守反動政策と国民的自由運動との対決)」の証人でもあったように思われます。特にハイドンとシューベルトが生没はウィーン内外であり、ハイドンがバロック時代直属、シューベルトがロマン派へ後続していたことは象徴的なものでしょう。

私は自分の不明を悔やみつつ、3年間をハイドン研究に(大袈裟でなく)没頭しました。個人的な感慨で、ハイドンはモーツァルトとベートーヴェン以上に音楽的実験と試みを行ってきたと痛感致しました。

モーツァルトより24年早く生まれ、ベートーヴェンより実年齢20年長生きしたのです。この時間的経過の他、モーツァルトとベートーヴェンが経験しなかった、ルイ14世やマリア・テレジア女帝が送った官僚的生活をハイドンもこなしていたことは見過ごせません。

神に帰属する教会、王侯を頂点とする封建制度から産業革命を起点とする市民生活の目覚めで儀式一般が省略され始める過程をハイドンの作品実習で感じました。

有体に申せば「面倒くさいこと」をモーツァルトとベートーヴェンは「スルーしてしまった」と実感しましたが、これは悪い意味ではなく、時代変遷と音楽様式の流れに一致するのです。

「主題労作」でハイドンは二人よりも余分の作業を行い、より多くの反復がされています。ヴェルサイユ宮殿で儀式が煩雑だったことと関係があるかもしれません。王妃マリ・アントワネットは起床時の着衣で高位の女官、伯爵夫人が殆ど着せ替えを終わった頃、侯爵夫人の登場で改めて下着から衣替えをしなければならず、寒さに悲鳴を上げました。ハイドンの主題労作、丁寧なモチーフ展開でピアノ初心者が脱落したかと思われま。

「手の交差」左手が右手を越え高音部を奏する、右手が左手を越え低音部を奏する方法はロマン派では「手が3本」と錯覚させる鍵盤上の視覚的ヴィルトゥオーゾの楽しみからきています。リスト《ため息》に見られた効果を思い出してください。

ところがハイドンの場合はオーケストラの音響と奏者の位置を考え、それはモーツァルト《トルコ行進曲ソナタ》第1楽章Var.IVとベートーヴェン《ワルトシュタインソナタ》第3楽章に引き継がれ、響きが豊かになりました。実はリストはベートーヴェンの孫弟子なのです。

ハイドンが考案した作曲手法は古典派音楽から新ウィーン楽派のアントン・ヴェーベルン《変奏曲op.27》で頻発する「手の交差」の放物線と加速減速スピードにも及んでいます。



マリ・アントワネット マリア・テレジア ルイ14世 ヨゼフ・ハイドン

山崎 孝(やまざき たかし) 1937年生まれ。東京藝術大学卒業。ピアニスト

グローバル時代のコミュニケーション

～国や文化を超えて真に信頼関係を作るコミュニケーション～

【第54回】

みなさまこんにちは。

トランプ大統領のイラン攻撃から、今後の世界が心配ですね。フランスでは、大統領が自国を守るために核弾頭を増強するという方針を示しており、また、日本では、殺傷能力のある防衛装備品の移転(輸出)を、国会で十分に議論することなく政府が勝手に決めてしまっている現状に、とても不安を感じています。海外在住のみなさまも、このような状況に不安を感じておられるのではないかと思います。人々の幸福は、相互の理解にあるのではないかと私は思っています。このコラムが何かのお役に立つことができれば幸いです。

さて、今回はNLP(神経言語プログラミング)のベースとなる「7つの前提」のうち、5つについて解説させていただきました。

「地図は領土ではない」「失敗はない、あるのはフィードバックだけ」など、どれか一つでも皆さんの日常のヒントになっていけば嬉しく思います。今回はその続きとして、残りの2つをご紹介します。主に「他者との関わり」や「状況への対応」に関する重要な考え方です。

3. コミュニケーションと柔軟性に関する前提 (人や状況にどう対応するか)

⑥ コミュニケーションの意味は、相手の反応にある

意味: あなたが「何を伝えたいつもりか」ではなく、相手が「どう受け取り、どう反応したか」が、そのコミュニケーションの本当の意味(結果)であるという考え方です。

解説: 私たちはよく「言ったはずなのに伝わっていない」「そんなつもりで言ったのではないのに怒らせてしまった」と悩むことがあります。しかしNLPでは、コミュニケーションの主導権は自分にあると考えます。もし相手が誤解したり、不機嫌になったりしたのなら、それは「あなたの伝え方」が引き出した結果です。

例: 部下に「もっと早く仕事を」と伝えて、部下が萎縮してしまった場合。「部下が打たれ弱い」と相手のせいにするのではなく、「萎縮させるような伝え方になっていた」と結果を受け止めます。

メリット: 「相手の理解力が足りない」と他責にするのをやめ、「どう伝えればこちらの意図通りに動いてくれるだろうか?」と、自分の伝え方を工夫するようになります。結果として、人間関係のストレスが大幅に軽減されます。

⑦ 柔軟性を持つ者がシステムをコントロールする(うまくいかないなら、別のことを試す)

意味: どんな状況でも、最も多くの選択肢を持ち、柔軟に行動を変えられる人が、その場(システム)で最大の影響力を持つという考え方です。

解説: いつも同じやり方に固執して「なぜうまくいかないんだ」と嘆くのは、開かないドアを押し続けているようなものです。NLPでは、「もし今やっていることがうまくいかないなら、とにかく『何か違うこと』を試みなさい」と教えます。押してダメなら引いてみる、右がダメなら左へ行ってみるという身軽さが重要です。

メリット: メンタルを変えたい時、無理に考え方を変えようとせず、姿勢や呼吸を変えるアプローチが可能になることがあります。

例: 子供が言うことを聞かない時、いつも「怒る」という方法しか持っていないと行き詰まります。しかし「褒める」「ゲーム感覚にする」「放っておく」など、複数のアプローチ(選択肢)を持っていれば、状況を良い方向へ導きやすくなります。

メリット: ひとつの正解や「こうあるべき」という固定観念に縛られなくなります。壁にぶつかった時の切り替えが早くなり、心に余裕が生まれます。

いかがでしたでしょうか。

前回と合わせて、NLPの7つの前提についてお話させていただきました。これらはNLPのスキル以前の土台です。この前提だけでもNLPに十分興味を持っていただけたのではないのでしょうか?

次回からは、この土台の上に立つ具体的な「NLPの基本スキル」を一つひとつ紐解いていきたいと考えています。NLPを学ぶことによりご自身の心を軽くし、フランスでのマネジメントや日常の人間関係をより豊かにする実践的なスキルを、じっくりとお届けしていく予定です。

今回は「私たちの脳がどうやって現実を切り取っているのか(脳のフィルター)」についてお話したいと思います。(続く)

大山裕之 コンティニュー株式会社 代表取締役社長
社団法人コーチアプローチファシリテーター連盟 理事長
国際コーチ連盟認定プロフェッショナルコーチ

場所と

人の出会い

【63】

小泉八雲(ラフカディオ・ハーン、1850-1904)は
ブルターニュのヴァンヌで思春期を送った



Patrick Lafcadio Hearn
(1850-1904)



今年の3月に日本へ短い一時帰国をした折り、学生時代からの親友と島根県の松江に旅した。国宝の松江城を訪れ、勿論つい最近まで話題を提供していた連続テレビ小説「ばけげん」の舞台、小泉八雲記念館も訪れた。実は日本への出発前に、岩波文庫の小泉八雲著作「心」を読んで感動し、松江を訪れたいと思ったのだ。小泉八雲記念館の展示はとても充実して興味深く彼の特異な人生に思いを馳せた。

そして、何と小泉八雲は12歳から16歳頃まで、フランスのブルターニュのヴァンヌで過ごしている事を発見。彼はヴァンヌにあるイエズス会の寄宿学校に居たのだ。12歳から16歳と言えば、人生で一番多感な思春期である。ヴァンヌの寄宿学校の日々が彼の人格を形成していったと言えるのである。

パトリック＝ラフカディオ・ハーンは、1850年ギリシャのレフカダ島で生まれた。父はアイルランド人で英国軍隊の軍医であり、母はギリシャ人であった。幼くして父の故郷アイルランドに移り住んだが、父は他の女性と暮らすために母を捨て、それがために母は心を病む。両親は離婚し母はラフカディオを残してギリシャへ帰国。ラフカディオは4歳で両親に捨てられた状況となり、父方の大叔母に引き取られた。この大叔母は大変裕福ではあったが、厳格なキリスト教信者で、ラフカディオは後にフランスへ送られイエズス会の寄宿学校に入る。キリスト教イエズス会は各地に学校を建て、貴族やブルジョワの子弟

たちを厳格なキリスト教育で育成することで有名であるが、ブルターニュのヴァンヌにも有名なイエズス会の寄宿学校があった。16世紀後半に既に最初のコレージュが立てられ、17世紀にはこのコレージュがイエズス会の運営となる。しかしラフカディオ・ハーンが入ったコレージュは1850年創立のサン・フランソワ・クサヴィエ工校である。この学校は

ブルターニュ地方の有名校になりカトリック教育の中心的存在になって行った。イエズス会の学校はヨーロッパ各地にもネットワークを持つ国際的教育機関で宗教的・道徳教育に加えて古典教育も優れ、全体的にレベルの高い近代的エリート教育のモデルにもなっていることから、きっとハーンの大叔母は、幼くして孤児のような立場の彼に確かな人格形成の場を贈りたいと思ったのである。



旧サン・フランソワ・クサヴィエ工校



リセ・フランソワ・クサヴィエ

因みに、当時のサン・フランソワ・クサヴィエ工校では、古典教育として、ラテン語とギリシャ語、修辞学では、文章や演説を学び、哲学と神学の基礎、さらにフランス語文学というカリキュラムであった。古典語教育はハーンの文学的表現力の基礎をつくったに違いない。そしてフランス語の習得も見事にできたわけである。宗教教育に関しては、毎日の祈り、ミサ、そして厳しいカトリシズム(キリスト教義教育)と道徳教育、つまり善悪の判断、良心の省察(自分を振り返る習慣)、自己と神の関係深化などが重視された。

寄宿舎生活は外部との接触もなく、厳格な規則を強いられ罰則も厳しかったようである。ハーンは閉鎖的なこの教育環境の中で、内向性を強めることになったようだ。彼は成績優秀で、特に文学と語学に才能を示し、文章表現も長けていた。しかし、批判的思考を許さないあまりに厳格な宗教教育で、ハーンはキリスト教に嫌悪を感じるようになったと言われる。さらに遊技の繩の目が左目を打つ事故で左目を失明したことは、彼の心を傷つけコンプレックスを強めることになった。そして追い打ちを掛けるように大叔母の破産によって、ハーンは17才の時に学校を辞め、イギリスに戻った。その後は、オックスフォード、ケンブリッジについて3番目の名門校グラム大学で学んだが、大叔母との関係も悪くなり、1869年19才で移民船でニューヨークに渡った。極貧生活も経験するが、ジャーナリストとして頭角を現し、3年後にはシンシナティのトレード・リスト紙の副主筆になり、その後もジャーナリストとして活躍を続ける。



ヴァンヌ旧市街



ヴァンヌ近郊モルビアン湾



カテドラル・サン・ピエール

日本との出会いは、1884年ニューオーリンズで開催された万国博覧会であった。八百万の神々がぐらぐらに自然とともに存在する日本の文化に強く惹かれたのであった。1890年、ハーバー・マガジンの通信員として、4月4日横浜港に到着。この契約は到着直後に破棄されるというドラマがあったが、ニューオーリンズで知己を得た当時文部省にいた服部一三の斡旋で7月、島根県は松江の尋常中学校と尋常師範学校に英語教師として松江にやって来たのだ。その後のことは大体テレビ小説にある通りである。こうして見ると、ハーンの人生に於ける知的活動の基盤づくりはヴァンヌの寄宿学校にあったと言っても過言ではないようだ。そしてこの学校の名前はあの日本まで布教にやってきたフランシスコ・ザビエルである。

フランス政府公認ガイド・コンフェランシエ 平井 愛子



| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|--------------|------------|---------------|--------------|-------------|-----------|----------------|------------------|-----------------|--------------|---------------|--------------|
| 仔馬喰む草播らぐ昼のどけしや | 雛の日に老いし母焚く祝い飯 | 朝な夕な実らぬとても花杏 | 澄み切りて川面に写る春裕 | 小路過ぐ女はんなりと春裕 | よちよちとピアノ奏でる夫の春 | 爛漫の杏花のなか乱舞せり | 春裕仲間と集ふ畑祭り | 菜の花や黄金に染むる戦の地 | 木蓮や物乞ふ人を誰も見ず | 我が生家古木の杏花盛り | 先生の色めく姿春裕 | 四つ辻を越えて見とほす花杏子 | 大やどかりつひの棲家となりししか | クロッカス修司の歌はポケットに | 雨雲に白藤いよよ妖しかり | 畑の土ほどけ出したり杏咲く | 持って行け風悲しさを花杏 |
|----------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|--------------|------------|---------------|--------------|-------------|-----------|----------------|------------------|-----------------|--------------|---------------|--------------|

自選句集 161
(入会順)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|-----|-----|---|---|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|
| 純子 | 純子 | 美佐子 | 美佐子 | 茜 | 茜 | 佳久子 | 佳久子 | 容子 | 容子 | 春代 | 春代 | なをみ | なをみ | 万里 | 万里 | 勝義 | 勝義 |
|----|----|-----|-----|---|---|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|

日本人会フランス語講座 2026年4月～7月

| 月 | | | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--|--|--|---|--|------------------------------------|---------------------------------------|
| 9:45-12:00 入門_3 1 Laurent | 10:00-12:15 入門_1 NEW! 4 Florence | 10:00-12:30 会話 B2+ 5 Muriel | 9:45-12:00 A2 10 Laurent | 10:00-11:00 発音マスター1 17 Muriel 11:15-12:15 発音マスター2 18 Muriel | 9:45-12:00 A2 14 Laurent | 9:45-12:00 入門_2 16 Laurent |
| 12:30-14:45 A2 2 Florence | 12:30-14:45 A1 34 Laurent | 12:30-14:45 Conversation A2 9 Muriel | 13:00-15:15 入門_3 11 Laurent | | 13:00-15:15 A1+ 35 Muriel | 9:45-12:00 A1 30 Laurent |
| | 17:15-18:45 DALF C1 6 Muriel | | 17:15-18:45 DELFB2 12 Muriel | 17:15-18:45 DELFB1 15 Muriel | 17:00-17:45 KIDS 29 Laurent | 17:15-18:45 DELFA2 19 Muriel |
| 19:00-20:30 入門_1 NEW! 25 Laurent | 19:00-20:30 A1+ 7 Muriel | 19:00-20:30 入門_3 28 Laurent | 19:00-20:30 会話 B1/B1+ 33 Muriel | 19:00-20:30 入門_2 26 Laurent | 19:00-20:30 A1 27 Muriel | |

| | |
|-------|------------|
| オンライン | 日本人会 教室 |
|-------|------------|

日本人会では、4月～7月期のフランス語講座の生徒を募集いたしております。

- ・これまでフランス語を勉強したことのない方向けのクラスから、DALF C1受験用の上級者クラスまでレベルに合わせてお選びいただけます。
- ・楽しい雰囲気の中で学習できる「教室クラス」と忙しい方などが移動せずに授業を受けられる「オンラインクラス」があります。(教室クラスは定員8名、オンラインクラスは定員6名。少人数での効果的学習が可能です。オンライン授業にはTEAMSを使用いたします。)
- ・日本人の弱点を知り、日本人の指導に精通した講師が揃っています。
- ・今期新設のクラス：はじめてフランス語を学習する方向けのクラスを新設いたしました。

■月曜10時～12時15分 入門_1 (教室クラス) ■月曜19時～20時30分 入門_1 (オンラインクラス)

*入門1のお試し受講は授業進行上の都合から第2回目までとさせていただきます。(その他は残り8回前まで)

- ・DELFB/DALF対策講座は Muriel NAVARRO講師 (DELFB認定官) による試験対策講座です。一般の語学学校では不可能な、日本人が間違えやすい点を徹底指導。非常に高い合格率を誇ります。DELFB/DALFのクラスはお試し受講であっても受講前にレベルテストを受けていただきます。
- ・日本人会のフランス語講座は18歳以上が対象です。/KIDSクラスは小学生以上が対象です。
- ・お一人2クラスまで体験受講 (違うクラスを2つ。同じクラスを2回ということではありません) をしていただけます。/日本人会会員でない方も体験受講は可能です。
- ・途中入校も可能ですが (その場合、料金は回数割で15%割増) 残り授業数8回以降になりましたら無料体験および途中入校はできませんのでご了承ください。
- ・オンラインクラスはフランスの地方、日本からの受講も可能です。
- ・講座の申し込み人数が3人に達しない場合はそのクラスは開講しない場合がございます。
- ・日本人会フランス語クラスの受講は日本人会会員に限ります。

フランス語レベル目安 は以下のリンクよりご覧ください。
https://zaifutsunihonjinkai.fr/wp-content/uploads/2022/06/2022_SEP_niveaux_francais.pdf

日本人の特徴を知り尽くした講師陣による授業
 Mme Florence MEHRVAR
 Mme Muriel NAVARRO
 M Laurent LOYER

料金表と授業のスケジュールは下記リンクよりご覧ください。
<https://zaifutsunihonjinkai.fr/non-category/post-81050/>

問合せ・申込：
 Tel. 01 53 76 17 58
 coursfr.ajf@gmail.com

目次

| | | | |
|--------------------|-----|-------------------|----|
| 日本祭り開催のお知らせ | 1 | マロニエの会・お花見 | 8 |
| ソフトボール大会50周年 | 2 | 日本の四季のレシピをフランスで | 8 |
| 「みもぞ」40周年コンサートのご案内 | 3 | 終 (つい) のデザインのスズメ | 9 |
| 補習校だより・かるた大会とバザー | 3 | フランス生活養生訓 第31回 | 9 |
| パリ日本文化会館事業案内 | 4-5 | ヨーゼフ・ハイドン <11> | 10 |
| 日本人会「川柳パリ会」 | 5 | グローバル時代のコミュニケーション | 10 |
| 舞台裏より愛をこめて vol.28 | 6 | 場所と人の出会い <63> | 11 |
| フランス人物伝 <28> | 6 | ふらんす俳句会 | 11 |
| 日本人会活動案内 | 7 | 日本人会フランス語講座 | 12 |

日本人会会報 Journal Japon
 年6回発行：第51巻3号 (通巻319号)
 発行人 片川 喜代治
 編集人 高橋 幸隆
 レイアウト 杉山 清美
 発行 在仏日本人会
 Association des Japonais en France
 (旧) Association amicale des ressortissants japonais en France
 9, Av. Marceau 75116 Paris
 TEL: 01-53-76-17-58
 月～土 du lundi au samedi 9:30-12:30 /13:30-17:30
<https://zaifutsunihonjinkai.fr/> contact.ajf@orange.fr
 *サイト内「会報」「お知らせ」のバックナンバーを
 閲覧する際のパスワード：heian2020
 *本誌の無断転載を禁じます